

B. subtilis由来のオキサレートオキシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1642

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、オキサレートオキシダーゼ（EC 1.2.3.4）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $\text{オキサレート} + \text{O}_2 + 2 \text{H}^+ \leftrightarrow 2 \text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}_2$ 。この酵素の3つの基質はオキサレート、 O_2 、および H^+ であり、2つの生成物は CO_2 と H_2O_2 です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にドナーのアルデヒドまたはオキソ基に作用し、酸素をアクセプターとするものです。この酵素クラスの系統名はオキサレート：酸素酸化還元酵素です。この酵素はグリオキシレートおよびジカルボン酸代謝に関与しています。2つの補因子を持ちます：FADおよびマンガン。

別名 OxO; OxOx; OxO_r; エアロオキサロデヒドロゲナーゼ; シュウ酸オキシダーゼ

製品情報

種	B. subtilis
由来	E. coli
形態	フリーズドライ
EC番号	EC 1.2.3.4
分子量	43.6 kDa, His-tagged
活性	> 230 mU/mg
単位定義	pH 4.5および25°Cで、1μmoleのオキサレートを CO_2 および H_2O_2 に換えるのを触媒する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

再構成 無菌水で2 mg/mLに再構成し、-80°Cでアリコートして保存し、再構成後6ヶ月以内に使用してください。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください。

安定性 供給された状態で少なくとも2年間安定しています。